

## IgG4 関連疾患と診断された患者さん、ご家族へ

「IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究」へのご協力をお願い

倉敷中央病院では、「IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究」という、厚生労働省・難治性疾患政策研究事業の多施設共同臨床研究に参加しています。このポスターは、この研究について説明したものです。

### 1. 研究の目的

IgG4 関連疾患は、日本から提唱され、今では世界中で注目を浴びている新しい疾患概念です。血液の中の IgG4 の値が高いことや、IgG4 を産生する形質細胞がさまざま臓器に浸潤することを特徴とする全身性疾患で、原因は未だ不明です。しばしば臓器の腫大や腫瘍形成をきたして、臨床的に悪性腫瘍（癌）との鑑別が問題となります。ステロイドと呼ばれる薬がよく効くため、正しく診断して正しく治療することが必要ですが、診断の困難な症例もあり、また治療をいつまで継続するのが望ましいかなど、解決されていない問題も多数あります。そこで、専門家による研究班が組織され、1) わが国の臓器別診断基準、治療指針を完成させ、2) IgG4 関連疾患の臓器別重症度分類を作成し、3) さらに疾患全体の包括的診療ガイドラインの改訂作業を行う目的で、共同研究が行われることになりました。

### 2. 研究の対象

過去（1979 年～）に、臨床的あるいは病理学的に IgG4 関連疾患と診断された患者様が対象となります。治療を受けられた当時は正しい診断がつかず、「炎症性腫瘍」「炎症性偽腫瘍」などとされていることもあります。

### 3. 研究の方法

カルテに残る既存の臨床データや病理標本を取り出し、他施設との検討に用います。その際、個人名、生年月日など個人が特定できる情報は持ち出しません。

### 4. 費用について

当研究は厚生労働省の研究費により行われますので、その費用を患者様にご負担いただく必要はありません。また謝礼をお支払いすることは出来ませんのでご了解ください。一般診療の費用は個人負担となります。

### 4. 研究への参加・撤退について

この研究へのご協力の同意は、患者様ご自身の自由意思で決めてください。強制はいたしません。同意されない方は、いつでも主治医あるいは下記の研究担当者までご連絡ください。同意されなくても不利益になるようなことは一切ありません。

### 5. この研究の担当者・問い合わせ先

能登原憲司（病理診断科・主任部長）

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構・倉敷中央病院・病理診断科

電話：086-422-0210（代表）